



交通安全教育チーム

“あゆみ” 活動の紹介

★交通安全ステージ



交通安全教育チーム“あゆみ”は平成15年5月1日に発足しました。

県内各地で開催される交通安全教室において、その対象に合わせた交通安全教育を行う専門のチームです。

“あゆみ”の由来は、**交通安全の知恵や知識と一緒に考え学びながら、無事故で「歩んで」いきたい**との願いから名付けられました。

★幼児に対する安全教育

基本的な交通ルールを守り、安全行動が実践できるように、**人形劇**などを通じ、こどもたちにわかりやすく楽しんで聞いてもらえるような交通安全教室を開催しています。



★幼児の保護者に対する安全教育

幼児の保護者に対しては、家庭での交通安全教育の重要性を訴えるとともに、**こどもの行動特性**を説明して、家庭でのこどもに対する効果的な交通安全指導方法のアドバイスなどを行っています。



★児童に対する安全教育



交通ルールを正しく理解し、安全に道路を通行できるよう、**歩行訓練**や**自転車訓練**を行っています。また、車の特性である死角や内輪差についても理解できるよう、実験を用いてわかりやすく説明しています。

★中学生・高校生に対する安全教育



ルール違反による自転車事故が多発していることから、二人乗りや携帯電話を使用しながらの運転等、ルール違反の危険性を実感させるとともに、**交通事故の加害者となった場合の責任の重大性**を認識させ、万が一事故を起こした場合に適切な措置がとれるよう、具体的な指導を実施しています。また、近い将来、運転免許を取得する世代であることから、**車社会**に対応できる人間形成をねらいとした指導も行っています。

★高齢者に対する安全教育

加齢に伴う身体機能の変化が行動に及ぼす影響や、交通ルールを守ることの重要性について各種シミュレータを活用した**参加・体験・実践型教育**を実施しています。

また、反射材スコップライトや飲酒ゴーグルを使用した体験、交通安全川柳を用いた講話等を通じて、交通安全意識の向上につながる内容を分かりやすく解説しています。

【シミュレータ例】

運転能力診断装置は、車両等の安全運転に欠かせない「動体視力」「注意・配分力」「短期記憶力」及び「判断力」の4つの能力を診断するもので、自らの運動能力の変化に気づきを与えることを目的としています。



交通安全教育チーム“あゆみ”
の要請は、開催地を管轄する
警察署の交通課総務係にお問
い合わせ下さい。

